

(3) 第2回企業×交流会

第2回交流会

日時	令和2年12月13日(日) 13:30~15:00																														
会場	Zoomにて																														
テーマ	IT・生活環境・観光																														
担当	メインファシリテーター・総合司会：中嶋未歩(和歌山大学、4期) サポート：浦谷拓弥(大和大学、2期)、岡橋拓摩(大和大学、3期)、 藤井優希(和歌山大学、4期)、建林萌恵(和歌山大学、4期)																														
参加者チェックイン	テーマ「一番最近行った『旅行』『外食』『デリバリー』は何ですか？それはいつ、どんなことですか？」																														
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍になってからあなたの消費はどのように変化したか ・with コロナ時代に私たちはどのような消費活動を選ぶのか？ 																														
	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 13:30(5)</td> <td>交流会の趣旨説明</td> <td>大阪府消費教育学生リーダー会代表 浦谷拓弥(大和大学)</td> </tr> <tr> <td>2 13:33(7)</td> <td>岡崎先生のお話</td> <td>岡崎裕(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>3 13:39(35)</td> <td>参加企業のご紹介</td> <td>消費関連専門家会議(AMM)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会(NACCS)4社 日本ヒーブ協議会1社</td> </tr> <tr> <td>4 13:40(15)</td> <td>参加者チェックイン</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>5 13:35(30)</td> <td>今日のテーマ趣旨説明</td> <td>大阪府消費教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>6 13:45(30)</td> <td>グループワーク</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>7 14:22(30)</td> <td>全体共有&まとめ</td> <td>各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>8 14:45(5)</td> <td>岡崎先生のお話</td> <td>岡崎裕(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>9 14:55</td> <td>閉会</td> <td>中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> </tbody> </table> <p>拡大版は、資料17参照。</p>	時間	プログラム	全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)	1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	大阪府消費教育学生リーダー会代表 浦谷拓弥(大和大学)	2 13:33(7)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)	3 13:39(35)	参加企業のご紹介	消費関連専門家会議(AMM)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会(NACCS)4社 日本ヒーブ協議会1社	4 13:40(15)	参加者チェックイン	全員	5 13:35(30)	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)	6 13:45(30)	グループワーク	全員	7 14:22(30)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)	8 14:45(5)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)	9 14:55	閉会	中嶋未歩(和歌山大学)
時間	プログラム	全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)																													
1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	大阪府消費教育学生リーダー会代表 浦谷拓弥(大和大学)																													
2 13:33(7)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)																													
3 13:39(35)	参加企業のご紹介	消費関連専門家会議(AMM)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会(NACCS)4社 日本ヒーブ協議会1社																													
4 13:40(15)	参加者チェックイン	全員																													
5 13:35(30)	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)																													
6 13:45(30)	グループワーク	全員																													
7 14:22(30)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)																													
8 14:45(5)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)																													
9 14:55	閉会	中嶋未歩(和歌山大学)																													

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	44名	大阪府講座受講生 5 和歌山大学講座受講生 39
リーダー会	5名	2期生 1、3期生 1、4期生 3
企業	14名	ACAP:ハウス食品(株)、ACAP 西日本支部啓発・交流部会副部長、雪印メグミルク(株)、伊藤ハム米久ホールディングス(株)、パナソニック(株)、大阪いずみ市民生活協同組合、カスタマーケアプラン、イカリ消毒(株) NACS: ICT2、環境問題研究会 2、西日本支部長 日本ヒーブ協議会: 第一生命
大学	1名	和歌山大学 1
その他	3名	大阪府消費生活センター2 (うち 1名動画参加)、事務局 1
合計	67名	グループ分け 11 班 (IT4 グループ、生活環境 4 グループ、観光 3 グループ)

<第2回交流会の様子>

0. 事前準備 ★は第1回より追加した事項

1時間前

- ・各自 PC を立ち上げる
- ・全員イヤホンをつける (ハウリング防止のため)
- ・各自役割の確認
- ・google スライドのアドレスを全員にチャットで案内★

20分前

- ・Zoom 会議をオンライン
- ・google スライドで作成した今日の流れの資料を共有する
- ・注意事項のアナウンス時に、google スライドにアクセスして立ち上げておくよう依頼★
- ・スライドは、事前の準備についての注意事項を出す
- ・参加者を、事前にグループ分けした名簿に応じてグループ分けしていく (ブレイクアウトセッションにて)
- ・グループ担当は、ホスト役に

10分前

- ・事務局から企業、行政の方へご挨拶と注意点を伝える★

1. 開会式

司会 中嶋未歩 (和歌山大学)

まず初めに、司会者からネット上での交流会になったことを伝え、協力をお願いした。

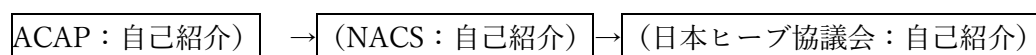
3. 岡崎先生よりご挨拶

今年度コロナ禍の中で養成講座を実施し、企業の方にもご協力をいただきながら交流会を

開催できたことへの感謝が伝えられた。

4. 企業のご紹介

司会者から、本来であれば、実際に対面することでどんな企業の方が参加されているのかすぐにわかるが、Zoom での開催となったことから、参加されている企業の顔が見えにくい
ため、企業の参加者の皆様から自己紹介をいただくことになったことが伝えられた。以下の
順番で一言自己紹介をしていただいた。



5. 参加者チェックイン

司会者から、参加いただいている学生、企業の方全員に、今日のワークショップに参加し
ていることを相互に伝えるために、チェックインの作業をしていただくことを伝えた。
全員、回答をチャットに入力してもらうこと、入力するには以下のルールに従って、入力
をお願いした。

- ・チャットの対象は「全員」を選択
- ・入力は、名前・所属・回答の順

お題は、

「一番最近行った「旅行」「外食」「デリバリー」は何ですか？、それは、いつ、どんなこと
ですか？1つだけお答えください。」

5分後に、入力された内容について、司会者から傾向を伝えた。この時間を設けることで、少
しお互いの顔が見えるようになったことを期待していることを伝えた。

6. ワークショップ

今日のテーマは、「IT」「生活環境」「観光」の3つのテーマであることを伝えた。
各グループのテーマは、「IT」「生活環境」「観光」いずれかで、すでに決めさせていただい
ており、事前に、ワークショップの参加申込していただいた方については、希望のテーマに
グループ分けしていることを伝えた。

続いて、グループワークを始めるにあたり、いくつか注意事項を伝えた。

- ・途中でグループに分かれて議論する
- ・グループでは、全体の進行をしていただく人、書記、発表者を決める
- ・役割は、学生が担当
- ・グループでの議論終了後に、全体共有として各グループで話し合われた内容を発表
- ・グループごとにスライドを指定し、自分のグループのスライドの色のついたシートに、議
論した内容を自由に入力できる。書記だけでなく、グループ全員が入力可能。最後の発表
用資料としてもつかうことができるため有効に活用

続いて、ワークショップの流れと主旨についての説明を行った。

テーマについての説明は、以下の通り。

「みなさんご存知のように、今年は新型コロナウイルスの感染が拡大し、猛威をふるいま

した。その影響で緊急事態宣言や外出自粛要請が出され、今までは当たり前できていたことができなくなってしまいました。密な状態になりやすいライブ等のイベントや旅行はできなくなってしまい、また緊急事態宣言の影響で商業施設が軒並み閉まってしまったのでショッピングもできなくなってしまいました。今は緊急事態宣言も解除され、以前のようにとまではないものの、少しずつ元の生活に戻りつつあります。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は今も収まらず、みなさんもまだまだ不安がいっぱいなのではないかと思います。

「IT」についてです。新型コロナウイルスの影響で、なかなか自由に外出しづらい状況が続いています。でも、だからといって買い物をしないというのは難しいですね。そのため、以前よりもネット通販を利用する人が増えたのではないかと思います。そこで、ITのテーマのグループの方は、通販を利用することによるメリットやデメリット、生活の変化などについて話し合ってもらいたいと思います。

「生活環境」についてです。ライブ等のイベントは、特に密になりやすいため、オンラインでの開催や参加人数の制限、マスクや消毒、声を出さないなどの感染対策の徹底などを余儀なくされています。そこで、生活環境のテーマのグループの方は、私たちがこのような現状にどう向き合っていけばよいのかについて、イベント開催地への影響や、地域経済への影響など様々な視点から話し合ってもらいたいと思います。

「観光」についてです。今、海外旅行は渡航制限などで行くことが難しい状況になっています。国内旅行は、GO TO トラベルなどの支援制度ができたものの、まだまだ行くことに不安を感じている方も多いのではないかと思います。そこで、観光のテーマのグループの方は、旅行に行きたいけどなかなか行きづらいという気持ちのハードルはどこから来るのか、また、この状況をどう打開するのかなどについて話し合ってもらいたいと思います。

最後の全体共有の場では、各テーマの発表に加えて、コロナ禍におけるピンチをチャンスにするための方策についても発表してもらいたいと思います。新型コロナウイルスの影響でできなくなってしまったことはたくさんありますが、その中でも何か新しくできることはないか、アフターコロナに向けてこれからどうしていけばよいのかについて話し合ってもらいたいと思います。」

7. 全体共有

11 グループが話し合われた内容について、順次発表を行った。

8. 閉会&アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者に Web 上にあるアンケートに回答して頂くようお願いして終了した。